



青葉区の教育、学習支援業の事業所数は、横浜市18区中1位です。

(1) 経済センサスから

青葉区内の事業所数は、卸売業、小売業の1,714事業所が最も多くなっています。教育、学習支援業の504事業所は市内でも多く、医療、福祉の1,037事業所は港北区に次いで市内で2番目に多くなっています。

●青葉区の事業所数・従業者数

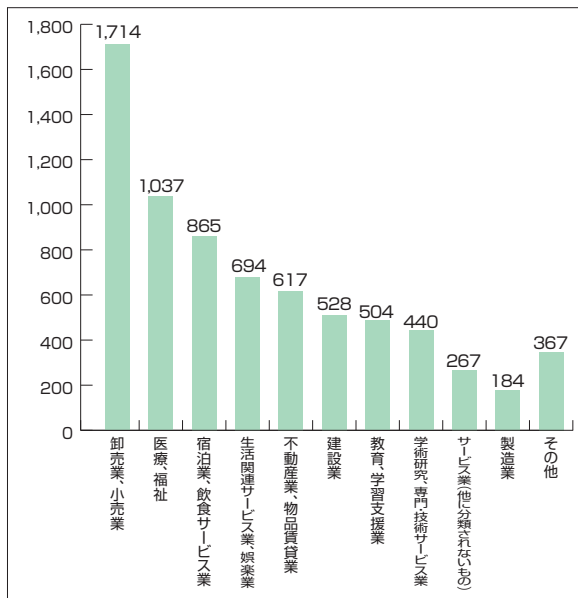
経済センサス基礎調査

	事業所数	従業者数(人)	基準日
平成21年度	7,389	77,048	平成21年7月1日
平成26年度	7,472	80,190	平成26年7月1日

経済センサス活動調査

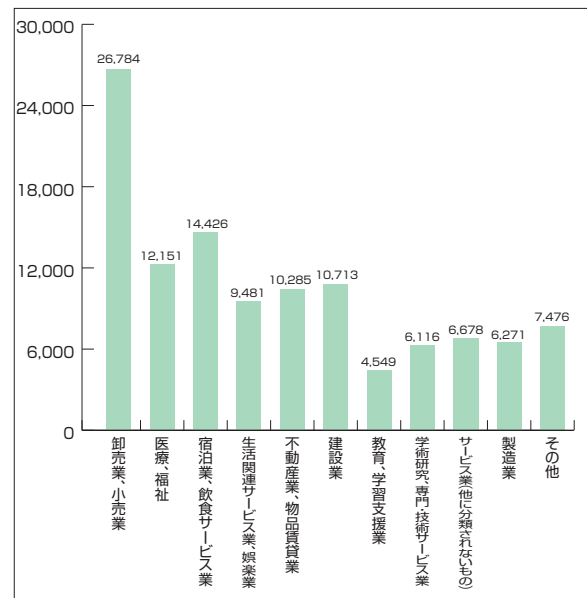
	事業所数	従業者数(人)	基準日
平成23年度	6,995	71,814	平成24年2月1日
平成28年度	7,217	76,000	平成28年6月1日

●青葉区の事業所数



平成28年6月1日現在

●横浜市内の事業所数



平成28年6月1日現在

●青葉区の町丁別事業所数トップ20

順位	町丁名	事業所数	順位	町丁名	事業所数
1位	市ケ尾町	596	11位	藤が丘一丁目	177
2位	青葉台二丁目	448	12位	美しが丘五丁目	173
3位	美しが丘一丁目	428	13位	藤が丘二丁目	155
4位	青葉台一丁目	275	14位	奈良町	135
5位	美しが丘二丁目	267	15位	田奈町	132
6位	あざみ野二丁目	234	16位	大場町	128
7位	荏田町	226	17位	新石川一丁目	123
8位	あざみ野一丁目	210	18位	榎が丘	122
9位	鴨志田町	182	19位	桜台	118
10位	しらとり台	181	20位	美しが丘四丁目	117
			20位	鉄町	117

平成28年6月1日現在

ひ・と・こ・と



【青葉6大学連携事業】青葉区には6つの大学があり、横浜市18区中1位です。青葉区では大学と地域のつながりを深めるため基本協定を締結し、青葉6大学連携講座、青葉6大学学生地域貢献活動を実施しています。



青葉区の小売業の事業所数・従業員数は、減少の傾向にあります。

(2) 工業統計調査から（平成30年6月1日現在）

青葉区は、工業の用途地域の割合が横浜市全体と比べて少ないこともあり、工業事業所数も少ないです。

●青葉区の工業事業所数・従業者数等

青葉区

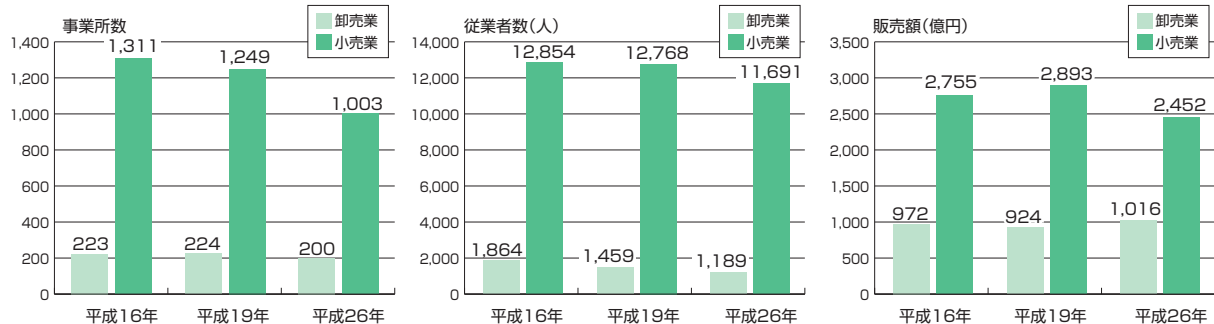
	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	付加価値額 (万円)
平成24年	53	1,434	2,386,142	969,857
平成25年	50	1,164	2,008,682	835,678
平成26年	52	1,357	2,575,432	1,001,004
平成29年	49	1,235	2,138,512	897,962
平成30年	48	1,186	2,089,243	889,590

横浜市

	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)	付加価値額 (万円)
平成24年	2,738	96,778	427,363,308	112,568,544
平成25年	2,580	93,095	410,470,979	98,891,326
平成26年	2,479	90,600	433,296,113	97,579,608
平成29年	2,345	88,058	371,427,040	96,822,047
平成30年	2,331	90,938	399,752,163	96,368,104

(3) 商業統計調査から（平成26年7月1日現在）

●青葉区の商業事業所数・従業者数・年間商品販売額



●青葉区の町丁別商業の事業所数トップ20

順位	町丁名	卸売業	小売業	総数	順位	町丁名	卸売業	小売業	総数
1位	美しが丘一丁目	2	155	157	11位	藤が丘二丁目	7	19	26
2位	市ケ尾町	18	91	109	11位	桜台	1	25	26
3位	青葉台二丁目	4	96	100	13位	柿の木台	5	19	24
4位	青葉台一丁目	7	47	54	14位	奈良一丁目	3	20	23
5位	荏田町	15	30	45	15位	鴨志田町	5	17	22
6位	あざみ野二丁目	2	38	40	16位	美しが丘五丁目	4	16	20
7位	しらとり台	7	26	33	16位	奈良町	3	17	20
8位	あざみ野一丁目	5	26	31	18位	美しが丘四丁目	4	14	18
9位	藤が丘一丁目	2	27	29	18位	つつじが丘	5	13	18
10位	美しが丘二丁目	2	26	28	18位	田奈町	5	13	18



青葉区の農家数は横浜市18区
中2位、住宅数は3位です。

(4) 2015年農林業センサスから(平成27年2月1日)

●農家数・従業者数・経営耕地面積

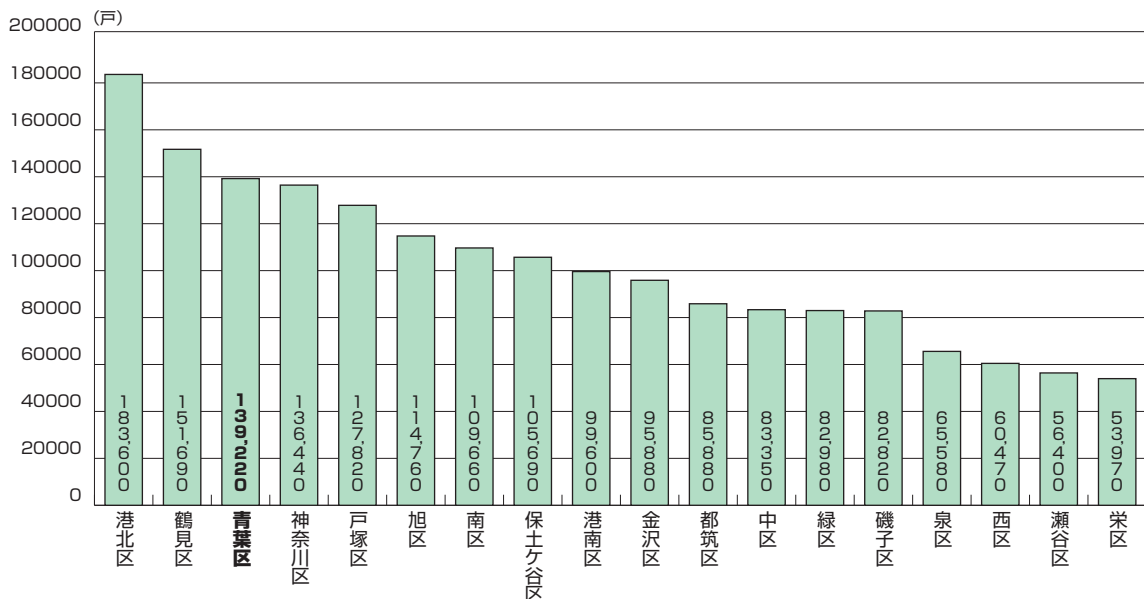
	農家数(戸)					農業従業者数 (販売農家) (人)	経営耕地面積 (a)	農家一戸あたりの 経営耕地面積 (a / 戸)	耕作放棄地 (a)
	販売農家		自給的農家	農業従業者数 (販売農家) (人)	経営耕地面積 (a)				
	専業農家	兼業農家							
都 筑 区	479	275	124	151	204	640	22,173	46	800
青 葉 区	431	196	76	120	235	385	18,371	43	1,600
泉 区	375	263	123	140	112	583	28,373	76	2,000
緑 区	365	229	102	127	136	471	21,191	58	600
港 北 区	360	216	114	102	144	549	16,882	47	900
戸 塚 区	314	188	84	104	126	430	18,909	60	900
旭 区	312	146	54	92	166	259	14,029	45	1,800
瀬 谷 区	202	155	65	90	47	315	16,983	84	600
神 奈 川 区	159	128	78	50	31	339	13,081	82	600
栄 区	119	51	27	24	68	119	4,257	36	500
保 土 ヶ 谷 区	118	84	39	45	34	195	7,223	61	700
港 南 区	77	40	16	24	37	80	2,810	36	300
金 沢 区	65	21	2	19	44	37	1,397	21	300
鶴 見 区	44	19	7	12	25	47	1,290	29	200
磯 子 区	25	14	6	8	11	25	626	25	100
南 区	5	4	1	3	1	8	×	×	×
中 区	1	—	—	—	1	—	×	×	×
西 区	—	—	—	—	—	—	—	—	—
横 浜 市	3,451	2,029	918	1,111	1,422	4,482	187,754	54	11,900

注1) 平成27年2月1日現在の経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯を農家としています。

注2) ×は秘匿です。秘匿とは、集計結果をそのまま公表すると、個々の回答の内容が漏れる恐れがあるために、該当数値を伏せるものです。

(5) 住宅・土地統計調査から(平成30年10月1日)

●18区別の住宅数



ひ・と・と・と



【住宅の省エネルギー設備】平成30年住宅・土地統計調査によると、青葉区内の太陽光を利用した発電機器を設置した住宅(3,810戸)および二重以上のサッシまたは複数ガラスの窓をすべての窓に設置した住宅(18,760戸)の数は、ともに横浜市18区中1位でした。